

氏名	木村 諭志	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	精神看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2006年 京都保健衛生専門学校 看護学科三年課程				
	2017年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科				
	2021年 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士前期課程				
経歴	2022年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 助教				
所属学会（役職）	日本精神保健看護学会、日本看護科学学会、ウェルビーイング学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	今日の向こうは～きょうだいが語るきょうだいの精神疾患と私の人生～	共著	あり	株式会社ペンコム、216頁		横山恵子、仲田海人、やじろべえ、南の島のきょうだい、 <u>木村諭志</u>	2024.6.
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	「精神科看護師のperformance」の概念分析	共同	日本精神保健看護学会第34回学術集会、成田		○小川千恵子、飯岡由紀子、森田牧子、秋山美紀、江口のぞみ、 <u>木村諭志</u> 、抱井洋介		2024.6.
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	科研費「基盤研究◎(一般)」	精神疾患をもつ人のヤングケアラーとなったきょうだいの体験－兄弟姉妹の会の実態調査－		木村諭志		2023.4～現在	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	精神看護学Ⅰ		1	実習調整上、オンデマンド授業とした。精神障害者家族の特徴や思い、家族システム、家族療法、家族をサポートする資源等について、学生がもつ家族観についても振り返りながら学べるようにした。家族の思いについては、親の立場からの語りの映像を活用し、学生の理解が深まるよう配慮した。			
2	精神看護学Ⅱ		1	前半は、ケアプラン作成に必要な精神看護学領域の理論や記録用紙について講義した。後半は、模擬事例について説明し、ケアプラン作成の個人ワークの時間とした。個人ワークの段階で生じた学生からの質問は、その場で応じられるように教員3名体制で対応した。			
3	メンタルヘルス論		1	ヤングケアラーの現状やメンタルヘルスに及ぼす影響、支援の課題について講義した。ヤングケアラー体験者の映像資料を活用しながら、教員自身がヤングケアラーだった体験も交えて説明した。最後は学生自身に問いかけ、必要な支援についてリフレクションができるよう工夫した。			

4	アカデミックリテラシー		1	文献検索の方法やクリティークについて、具体例を挙げながら説明した。説明後にグループワークを行い、テーマに沿った質的研究・量的研究を1つずつ抽出してもらい、各自クリティークに取り組めるよう指導した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神看護学Ⅱ		8	再構成は、ロールプレイを取り入れ、対人関係における自身の傾向や他者との相違に気づけるよう指導した。ケアプランは、個人のプランをもとにグループワークを行い、精神的のみならず、身体的、社会的側面について、退院後の生活を見据えたプランが立案できるように指導した。
2	アカデミックリテラシー		7	LTD学習法に基づき、事前学習としてテキスト「アカデミック・スキルズ」を読んでまとめることやグループ毎のテーマに沿った質的研究・量的研究の論文を1つずつ読み、各自クリティークを行うよう指導した。事前学習でまとめたものを、授業時間内でグループミーティングとして60分実施し、教員は適宜アドバイスを行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	総合実習		2024.7.	これまでの実習を通して学生が見出した精神看護学領域に関する自己課題について振り返り、積極的に目標が達成できるよう実習指導者と調整を行いながら指導した。
2	IPW実習		2024.10.	学生達の自主性を尊重して見守り、支援の方向性が定まらず留まっていた際には、共通する目標に気付けるよう発問し、相互理解を深めながらチームビルディングができるよう支援した。
3	精神看護学実習		2024.10～2024.12.	病棟、地域、学内実習を織り交ぜ、精神疾患を有する患者とその家族の背景や思い、患者の安全と倫理的観点、ストレングスや地域で生活する視点について体験的に学べるよう指導した。学生の状況を共有し、精神科看護師としての役割についても理解が深められるよう、指導者との連携を重視した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.3.	主指導 0名	副指導 4名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	十人十色のきょうだいたち	日本きょうだい福祉協会	きょうだいヤングケアラーのライフステージと葛藤－精神疾患のある人のきょうだいの体験－	2024.4.
2	市民公開講座	埼玉県立大学	精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク	2024.10.
3	公益社団法人全国精神保健福祉会 家族学習会セミナー	みんなねっと	当事者も親も気にかけているきょうだいケアラーの気持ち	2024.12.
4	精神保健福祉家族・支援者研修会	福岡県精神保健福祉会連合会・ 福岡県精神保健福祉センター	家族会の今とこれから	2025.1.

5	感染症研修会	社会福祉法人 もくせい福祉会	通所系事業所における感染症研修会	2025.3.
6	リカバリー全国フォーラム2024 「オンライン分科会13 (オンデマンド配信)」	地域精神保健福祉機構(コンボ)	当事者も親も気にかけているきょうだいケアラーの気持ち	2025.3~2025.5.
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	一般社団法人 日本きょうだい福祉協会		調査研究委員会	2024.4~2025.3.
2	公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)		協力委員	2024.4~2025.3.
3	公益社団法人埼玉県看護協会東部支部通常総会		選挙管理委員	2024.4.
4	日本精神保健看護学会第34回学術集会・総会		実行委員	2024.6.
5	第3回ウェルビーイング学会学術集会		ボランティア	2025.3.
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	(公社)全国精神保健福祉会連合会	家族のためのリモート家族学習会「きょうだい」全3回	2024.7~2024.9.
2	地域貢献活動	精神疾患をかかえる人のきょうだいのための東京兄弟姉妹の会	創立50周年記念「文集チーム」	2024.10~現在
3	地域貢献活動	(公社)全国精神保健福祉会連合会	家族のためのリモート家族学習会「担当者養成研修会」	2025.3.
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	看護専門科目「アカデミックリテラシー」科目担当		2024.4~2024.6.
2	学科等における委員会等	国試対策担当者会		2024.4~2025.3.
3	学科等における委員会等	看護学科親睦会		2024.4~2025.3.
4	学科等における委員会等	看護学科助教・助手会		2024.4~2025.3.
5	学生支援	看護学科1年生担任		2024.4~2025.3.
6	大学広報活動	埼玉県立大学 大学紹介映像 「ケアの受け手と提供者の関係～ペプロウの対人関係論～」		2024.3~現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			